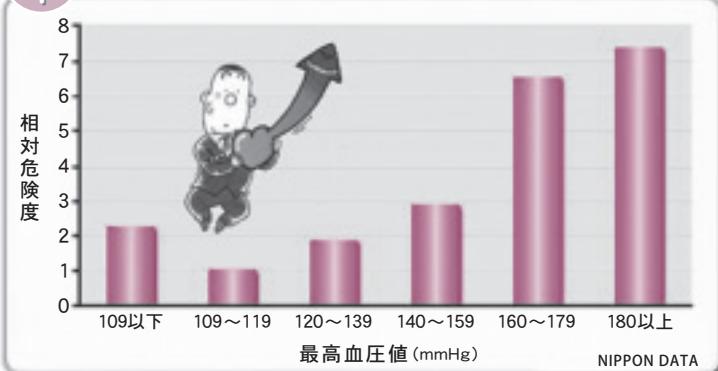


特定保健指導はあなたの健康づくりを応援します

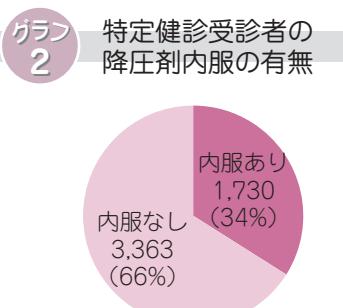
高血圧・糖尿病・脂質異常症 薬を飲んでいれば心配ない???

グラフ
1

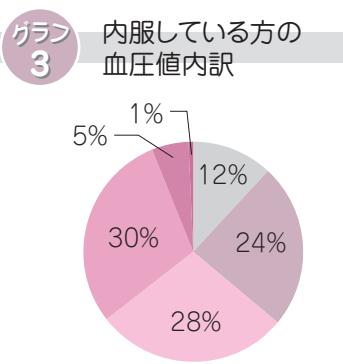


私は、血圧の薬を飲んでいるので、少しきらいな血圧が高くても大丈夫」という声をよく聞きます。しかし、降圧剤を飲んでいても、血圧が高い状態が続いていると、血管を傷つけ脳卒中や心臓病を引き起こす危険性が高いことは変わりありません。厚生労働省が14年間にわたり行った「最高血圧値レベルと脳卒中死亡相対危険度(男性)調査」によると、脳卒中により死亡する危険度が、軽症高血圧の人では至適血圧者の約3倍、重症高血圧の人では、7倍以上にもなっています。(グラフ1)

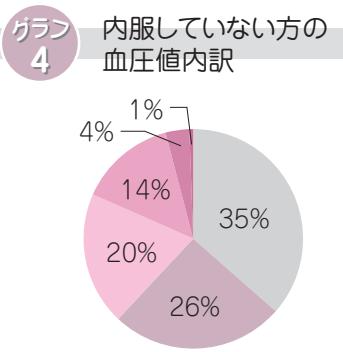
グラフ
2



グラフ
3



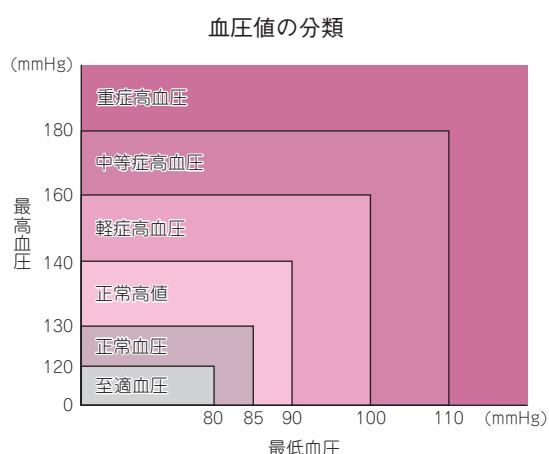
グラフ
4



グラフ2は平成22年度に特定健診を受診した方の降圧剤内服の有無を示したものです。特定健診受診者5093人のうち、1730人の方が降圧剤を内服し血圧の治療をしています。

グラフ3は降圧剤を内服している1730人の方の血圧値の内訳です。64%にあたる615人が、内服しているにもかかわらず、正常値より血圧が高い状況にあります。グラフ4は降圧剤を内服している13363人の方の血圧値の内訳です。39%にあたる1279人の方が正常より血圧が高い状況にあり、治療や生活習慣の改善が必要です。

高血压等の生活習慣病は、暴飲・暴食・運動不足・ストレス等の生活习惯の積み重ねが原因で発症するところをご存知だと思います。降圧剤を飲んで高血压の治療をしていても、根本にある生活习惯を見直し、改善しなければ脳卒中等の健康障害を予防することができません。これは、糖尿病・脂質異常症で治療している方にも言えることです。



高血压・糖尿病・脂質異常症で治療している・していないにかかわらず、必ず特定健診を受診しましょう。

■問い合わせ先 ■ 健康推進課 [総合保健福祉センター(かがやき)内] ☎54-7121